



壬申の乱開戦地・藤古川

吉野へ退いて約半年後、大海人皇子の耳に不穏な報告が届く。私用で美濃に赴いた朴井

ぎふの教育

岐阜県教育懇話会
〒503-0023
大垣市笠木町229-5
(0584)91-2478
口歴番号 00800-3-5390

網 領

われわれは歴史と伝統を尊重し、日本にふさわしい中正な教育を推進する。われわれは教養と品位の向上につとめ、真理愛の精神とともに、明るく純粋な教育を研修する。われわれは個人の自主尊厳を尊重しつつ、政治的中立を厳守し、主体性を堅持する。

野を出立するのである。この作戦は迅速に遂行さ

であったのが、挙兵より五日目にして朝廷軍とまともに戦えるだけの兵力へと成長したのである。この作戦を実行する舞台となった美濃国の安八磨郡には大海人皇子の湯沐邑(とうもくゆう・ゆのむら)があった。これは皇子の生活を支える給与地であるとともに事実上の私領として機能しており、乱に際しては軍事的基盤ともいえるべき役割を果たしていた。その計略の中心にいた品治は湯沐令であり、大海人皇子に対しては単なる官人としての枠を超えた忠誠心があったと思われる。

巻頭言 『日本書紀』が語る天下分け目の原点 —壬申の乱を勝利へと導いた美濃の地勢と動員力—

氣比神宮権禰宣 朝倉正樹

西暦六七二年、古代日本を揺るがした皇位継承争い「壬申の乱」。天智天皇の崩御後、その子・大友皇子と弟・大海人皇子が激突したこの内乱は、その後の国家体制を決定づける歴史的転換点となった。

なぜ大海人皇子は吉野を脱し、険しい伊勢路を越えて美濃の地を目指したのか。それは、東国軍勢力を掌握するための戦略と、この土地ならではの地理的条件があったからに他ならない。

連雄君(えのいのむらじおきみ)より、近江朝廷が美濃と尾張の国司に山稜を造るために徴発した人夫に武器を持たせているとのことであった。さらに大津から飛鳥に至る道のあちこちに監視を置き、菟道橋の橋守に命じて大海人皇子の舎人が私用の食料を運ばせないようにしているという別の報告もある。

これが事実だと確かめた大海人皇子は挙兵の決意を固め、六月二十二日、村國連男依(むらくにのむらじおより)・和珥部臣君手(わにべのおみきみて)・身毛君廣(むげつきみひろ)の三名を密使として美濃国に遣わし、現地の管理者である多臣品治(おほのおみほむじ)に計略の要点を伝え、在地の兵を起こし、さらに国司等を動かし諸軍を差し向けて急ぎ不破道を塞ぐよう命じる。そして自身も吉

れた。その四日後、美濃へ向かう道中の大海人皇子のもとへ早馬で駆け付けた男依より、美濃の兵三千人を動員して不破の道を塞ぐことに成功したと報告が入る。移動時間も考えれば現地に入り僅か数日のうちに多数の兵を動員して不破を押さえたのである。

不破は北側に伊吹山、南側に養老山地・鈴鹿山脈に挟まれた狭隘な盆地で近江と東国をつなぐ要衝である。大海人皇子は堅固な軍事拠点を得るとともに、東山道・東海道の軍勢の掌握を確かなものとした。さらにここに行宮を設けて本営とし、乱の終結に至るまで動かなかった。近江朝廷に先んじて不破を押さえたことが、この戦いの勝敗を決することになったといっても過言ではない。

更に翌二十七日、大海人皇子が不破を目前とした郡家に至るころ、尾張国司の小子部連鉏鉤(ちいさこべのむらじさひち)が二万の軍勢を率いて帰順したので、大海人皇子はこの大軍を各地の道に配備して守りを固めた。吉野出立時は僅か三十名程

また男依、君手、廣も美濃に勢力を持つ豪族であり、皇子の側近として仕える一方で、在地においては強固な共同体を束ねる存在でもあった。短期間のうちに兵を起こし不破道が封鎖されたこと、そして美濃・尾張の豪族らによる兵力動員が速やかに行われたのは、こうした前提を考えねばならない。

本講座では、わが国の正史『日本書紀』の編纂背景を紐解いた上で、その記述を丹念に辿りながら、乱の全貌を解説する。

「美濃を制するものは天下を制する」という言葉は、まさしく壬申の乱にこそ相応しい。美濃という地が日本史の行方を決めた歴史的重みを伝えることが出来ればと思う。

【道徳科教育研究協議会記念講演】

自己肯定感を育てる宝物ファイル
プログラムの実践と展望(下)

小児発達学博士 岩堀美雪

5、重なる困難と決意

私の一生をかけてやりたいという出来事が一年後に起きた。それが二〇〇四年の福井豪雨である。家や車が流され、校庭も瓦礫の山であった。私はその時福井におらず、埼玉の病院にいた。それは私の大学時代からの大親友が末期癌で入院をしており、その見舞いに行っていた。友達には癌が転移していて、余命数ヶ月と言われていた。私は民間療法などをさぐり、良いと思った方法を友達に伝えようと、新幹線に乗った時、友達の手紙を受けた。間に合わなかったと思うと、唯泣けてきた。

学校にもどると、大変なことになっていた。私の人生に同時に二つも悪夢のようなことが起きたことを嘆いた。泥だらけの教室を狂ったように清掃した。その汚れたTシャツを着替えてそのままお通夜に行くと、遺影がにっこりとほほえんでくれていたが、その笑顔をまともに見ることが出来なかった。また帰ってから忘れたいと思って仕事をしたが、

職場の同僚も心配をしてくれた。

そんな時にふっと冷静になって気がついた。あの子との別れを悲しんでいるけども、あと三十年四十年したら、何時かは分かれなくてはならない。あの子は先に天に召されたけれど、精一杯生きて逝った。だから生き残った自分にはやるべきことがある。それを見つけて一生かけてやり抜くべきだと思った。

そうした私の一番辛かった時に、勇気をくれたのが、それまでに受け持った子供達だった。私の目の前に確かに一人一人がいて、岩堀先生、岩堀先生と素晴らしい笑顔で呼んでくれ、目が輝いていた。その子供達のいい笑顔を感じた時に、子供たちがここにあって、ということ伝えたいと心で叫んでいた。

そして年が明けて大きな奇蹟が起きた。二〇〇五年の一月十七日。NHK福井放送局のディレクターから電話をいただいた。私の実践を北陸スペシャルというドキュメンタリーの二十五分の番組にしたいということだった。友人が福井で放送するから福井の小学校の先生でこんな本を書いている人がいるよと、私の本を渡してくれたとのことだった。

子供達が取り組むところを撮らせて下さいということで、「自分大好

き友達大好きく服間小5年生の宝物」というドキュメンタリー番組が出来て放送された。

こうして「宝物ファイル」は徐々に認知され、各地からその成果が伝わってきた。ある教師からは、「ちょうど九年前、教科書のホームページで岩堀先生の宝物ファイルに出会い、これなら自分にも出来ると思い、これを使って子供達に良さを書かせました。ただこれだけの取り組みを二ヶ月行ったら学級の困気が温かくなり、いじめも無くなり、不登校気味の生徒も気持ちよく学校に通えるようになりました。また保護者から宝物ファイルで我が子の良さを友達が見つけてくれる喜びを伝えてもらえました。思っていたよりいいままな結果で奇蹟のように思っています。また、「我が子への思いを書いてもらう取り組みや、自分の良さを確認する取り組みを全校で行い、周辺の学校より自己肯定感が高まっている統計が出ています。こうした取り組みを通じて子供達の自己肯定感、自己有用感が高まり、かけがえない存在であるという思いを高めていると思います。」とあった。

宝物ファイルの効果は、全国学力調査の結果にも現れていた。調査項目に自分に良いところがありますかという質問があり、私が参加した一

回目は全国平均が二九、五%だったが、私のクラスは六三、六%だった。四回目は三クラス一〇〇人で受けたが、全国平均が三〇、六%だったのに、私のクラスは六一、二%と全国平均の二倍くらいあった。

6、宝物ファイルの理論探し

こうしたいろいろな効果が出てきているのに、どうして自己肯定感が高まるのかは説明がつかなかった。そこで専門書にあたってみたら、私の考えと同じだと思ふ本に出会った。そしてこの人と意見交換をし、宝物ファイルを見てもらったら何と言われるだろうかと思った。ついに私は二〇一二年の一月一日、シャルルドゴール空港に降り立って、クリストファー・アンドレ先生に会うことが出来た。先生はフランスでも一二を争う有名な精神科のお医者様であり、心理学者だった。

私の宝物ファイルを見た先生は、「世の中の本物というものは、すべてシンプルだ。でもそれは大変に奥が深い。あなたのやってこられたことは、正にそれですよ。これまで十年以上のこれだけの成果があるのだから、今後の十年間はこれを世に広めていくのがあなたの使命です。」と言って下さった。

帰国してから、どうしたらいいの

かと考え、宝物ファイルの効果を科学的に証明する必要を感じた。そこで、大阪大学大学院小児発達学研究所後期博士課程を受験した。学校を退職することは忍びなかったが、同年まで勤めたとして、いつかは担任を持ってなくなる。だからそれが早く来たただけだと自分を納得させて、三十一年間勤めた教職をやめた。

博士課程では研究論文を海外のジャーナルに掲載されることが求められた。しかし、いくつか投稿したが皆却下だった。却下のコメントを総合すると、理論がないと言うことだった。通常研究で新しいプログラムを発表するときは、心理学にこんな理論がある。それに基づいてこんなプログラムを作ったらこうなった、という順序でないと認めてもらえないのである。そこで理論を見つけるために、三年で卒業できるところ、七年かけてようやく見付かった。それがアメリカのスーザン・ハーター博士の提唱する理論(自己肯定感強化理論)であった。

それによれば自己肯定感の発達には重要な二つの要因があると。

一つは個人的に重要な領域で、自分の能力で自分のターゲットに迫っていくと成長していき、自己肯定感が上がっていく。あるいは摂食障害の女の子で言うと、モデルさんのよ

うな体形を維持しなくてもいい、というように目標を下げることで自己肯定感が上がる。

二つ目は両親や教師などのサポートを受けるなど、自分の周りの人たちからいかに肯定的な言葉をかけられるかで自尊心が向上する。

宝物ファイルはその両方ともがハーター博士の理論にかなっていると言えた。そして、もともと低い子、もともと高い子、もともと中ぐらいの子と較べてどうかと見ると、もともと低い子と中ぐらいの子に宝物ファイルは有効だということが分かり、もともと高い子は影響を与えないということも分かった。

7、おわりに

私はあるとき、学級崩壊をしたクラスをもった。授業が始まって誰も席につかず、わーと飛び回っている。子供達の足下を見ると、みな靴のかかとを踏んでいた。そしてクラス中にうざい、きもい、とろいという言葉があふれ、男女の仲も最悪だった。

私はこのクラスでも宝物ファイルを始めたが、子供達は新しい先生がやるというのでやるかという雰囲気だった。私はだんだん夜寝られなくなり、鬱病寸前だった。その時、指導主事訪問があり、指導主事さんと個別懇談をした。私がぐったりし

ている様子を見て、先生が大変なクラスであること知ってますよ、と言われた。私は四月からいろいろやってきているのですが、ちつとも良いことがないのです。強いて挙げれば言葉遣いくらいです。五年生になり高学年になったから「何々け」から「何々です」と言い換えるように指導してやっとな変わってきました。それ以外一個もないのです、と言った。そしたら指導主事の先生は、一歩でもあるじゃないですかと言われた。

私ははつと気がついた。自分の蒔いた種は一つも芽が出ていないかという、喧嘩も四月から較べると減ってきたし。手も四月は全然上がらなかったのが、ちよつと上がるようになった。そして子供達の良いところが見えてきた。いろいろな問題は起きるのだが、それまではただただ腹立たしかったが、良いところが見られるようになってからは、こんな良いところがあるのになんでそんなことをするのか。残念だなという気持ちが強くなり、それを子供達言うようにした。すると中にはどれだけ怒鳴っても言うことを聞かなかつた子が、ぼろぼろと涙を流したのだ。

卒業生を送る会が近づいたとき、卒業式には卒業生に良いところを見て貰うよと言って、歌の練習の時に音量計をもって行き練習させた。そ

して迎えた卒業式の日、音楽の先生から教室で音だしをしておいて下さいと言われていた。階段を上がるときふと二年間のことを思い出した。二年間で一番いやだったのは朝の会で、校内放送が流れると全校で歌を歌うのだが、かつて担任していた二階のクラスからは大きな声が聞こえるのに私の三階のクラスはぼそぼそと声も小さかった。それでも少しは大きい声で歌えるようになったなと思っただが、ふと怖ろしいことに気がついた。それはもしかしてこれは私が大きな声で歌うよと発破をかけてきたから歌っているのかなど、もしここで発破をかけなかつたら、子供達の力で歌うだろうか。ここに二年間思い悩み苦しんできた答えがあると思っただ。

前日、明日は最後の練習ですよ、と言っておいたが、同じ事かと不安だった。そして教室へ入ると、子供達は窓ガラスが割れんばかりの声で歌っていた。そして、皆涙を流していた。子供たちの一生懸命に歌う姿を見た時、私の涙腺も崩壊した。そして、よくぞここまで育ててくれた。私があなたたちから一番学ばしてもらったと思っただ。

皆さん、もし担任になられたら、その子の良いところに目をつけてやっていただけたらと思います。(元)

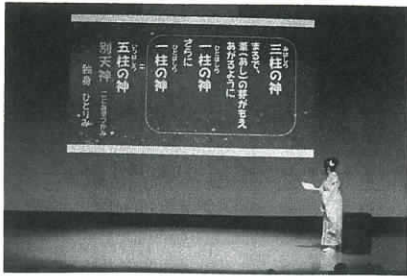
「建国記念の日を祝う
岐阜県民のつどい」盛大に開催

二月十一日、同つどいが、建国記念の日を祝う岐阜県民の会主催で、岐阜市文化センター小劇場を会場に盛大に開かれた。

メインの出し物は、昨年に引き続き「みんなで楽しむ神話の世界」と題した神話の語りで、朗読は元NHKキャスターの平野啓子女史である。

神話は、小学校の学習指導要領に「神話・伝承を調べ」と明記されており、県や岐阜市とそれぞれの教育委員会を始め、岐阜市近隣の市町と教育委員会がこぞって後援をした。

またつどいの実行委員会が手分けをし、各市町の教育委員会や小学校（一一六校）へつどいの案内状を配布した努力も実って、五百名近い親子の参加申し込みがあった。



最初に二人の大学生による「建
国クイズ」
があり、今
日は日本の
国の誕生日
で、二六八
六年という
世界でも一
番長く続く

ている国であることなどを紹介した。第一部は古風な衣装の平野女史が巧みな語りと映像で神話の世界を演出した。内容はイザナギとイザナミ、天岩戸、スサノオの大蛇退治の三つの神話で、子供たちにも分かりやすい内容であった。時々、講師が子供たちに尋ねる場面もあったが、子供たちは大きな声で反応をしていた。

第二部は奉祝式典である。最初の国歌斉唱では子供たちのために「君が代」の歌詞の説明があり、会場一杯の斉唱ができた。主催者挨拶は古屋圭司会長のビデオが流され、来賓挨拶は加藤大博衆議院議員、若井敦子参議院議員、岩井豊太郎県議会議員が話された。次に「東海まほろばの会」の子供たちが、合宿の成果である和歌を紹介していた。最後の「紀元節の歌」斉唱では、やはり子供向けに解説があり、参加者の声に合わせて歌い、会を締めくくった。

岐阜市立藍川東中学校
第8回藍東ジョイントスクール

二月十七日、岐阜市大洞の市立藍川中学校で第8回藍東ジョイントスクールと名付けた公表会があった。同校はこの四月から藍川東小学校と合併して義務教育学校「岐阜市立藍東学園」となり、その学校教育の在り方を先行研究していた。義務教



育学校は県下でも数校が開校しており、少子化にともなう学校の統廃合の流れもあるが、小学校教育と中学校教育の接続の在り方の問題や、増加しているいじめや不登校問題の解決策としても期待されている。

第三時に一般の授業が公開された。理科の授業は、「食物連鎖」の学習を終始グループ活動で展開していた。一つは八人の生徒が教師の講義を受けていた。他のグループは一人の生徒が発表し、他の生徒が質問や意見を出しながら進め、どのグループもほぼ同じ内容の学習をしていた。

第五時は一年から三年までの異年齢によるクラスでの学級活動を、第六時は道徳授業を行い、この一年間の異年齢集団での活動で自分の何が成長したかを振り返っていた。

松岡校長の説明によれば、従来の一斉授業での知識獲得型ではこれからの社会を担うことはできない。生徒の主体性を引き出すため個別・協働の授業、異年齢で学び合う学校づくりを目指しているとのこと。今後、その成果が問われる。注目したい。

微風烈風 世界は今、戦争、難民、

飢餓と、悲惨な事態が続発している。これらは国がしっかりしておれば相対に避けられたはずだ。二月の衆議院選挙で大勝した自民党は経済と安全保障をとりあげ、有権者はこれを支持した。国民が国防の重要性を意識し、現実に向き合ったのは目覚ましい▼国を社会、国民を市民と言いつつ、生徒を共産主義革命の戦士に育てることを目指していた。聖武天皇が疫病から国民を守るために東大寺の建立を願ひ、国民に一握り、一枚の協力を求めたのを、単に東大寺造ったのは大工さんと教え、明治維新は執拗に下級武士の力だと強弁し、明治憲法が定めた平等は天皇の下でだと不平等を強調していた。国民は青少年期にそう刷り込まれてきたが、克服をした▼空気を一変させたのが一人の女性首相であった。社会は一人の人格で変わるということだ。一人の人格で他の人々が呼応して大きくなる。子供も大人も自己が持つかけがえのない大切な人格を磨きあげれば、他の人格に良い影響を与える。正しい道を踏むかどうかは利に奔るか、義に生きるかで決まる。国民にその人格が育てば、事の正邪が分別され、国は定まる。国民教育の要諦はそこにある。Y